

関係各位



2005年8月24日

会社名 高千穂交易株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山村秀彦  
(証券コード 2676 東証第1部)  
問合せ先 取締役 常務執行役員  
経営システム本部長 赤堀 寛人  
電 話 03-3355-1111

## 高千穂交易、ATM 向け後方確認用ミラーを大手都市銀行に納入 ～ 「安全・安心・快適」な社会づくりに貢献 ～

高千穂交易株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:山村秀彦)は、薄型で凸面鏡と同等の広い範囲が見える「ATM 後方確認用ミラー」が大手都市銀行の ATM(現金自動預け払い機)に導入されたことを発表します。

昨今、多くの金融機関が情報漏えい防止や本人確認のために、キャッシュカードの IC 化や、生体認証(静脈や虹彩を利用した認証)システムの導入を進めていますが、暗証番号の覗き見や偽造キャッシュカードによる犯罪は依然として多発しています。また、ATM での入出金時に利用者が抱く「背後から覗かれている気がする」等の不安感解消が課題とされていました。

高千穂交易では、ATM のセキュリティ強化、利用者の快適さ・利便性確保の対策として「後方確認用ミラー」を各金融機関に提案してまいりました。金融機関が薄型のミラーを ATM 前面に貼るだけで、利用者は背後に人がいることが分かり、安心して ATM を利用することができます。(取付例写真ご参照)「後方確認用ミラー」の取扱いを開始した 2004 年 10 月から 2005 年 7 月までの累計で約 36,000 枚(約 77 百万円)がメガバンクの ATM に導入済みです。

高千穂交易は、今後、国内の ATM 約 15 万台のうち、後方確認用ミラー又は一般のミラーが未採用の ATM 約 7～8 万台の需要を見込んでいます。併せて、ATM メーカーへ新規開発 ATM に「後方確認用ミラー」の標準採用促進を働きかけ、年間 2 万台分の販売を計画しています。

また、券売機、無人契約機、証明書発行機等の、暗証番号や現金を扱う ATM 以外の自動機アプリケーションへの展開も図る予定です。

### 【ATM 後方確認用ミラーの特長】

- ・フラット、小型、薄型の形状・・・ATM の仕様を変更せず僅かなスペースに設置が可能
- ・広い視野・・・平面鏡と同様フラットで、凸面鏡と同等の広い視野
- ・設置が容易(工事不要)
- ・不審者へプレッシャー、犯罪抑止効果

【ATM 後方確認用ミラー】



ATM 後方確認用ミラー TFAT-19 (W)78×(H)140×(D)2.1 mm



ATM 後方確認用ミラー 取付例

このニュースリリースに関するお問い合わせは

〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-2-8

高千穂交易株式会社 広報 IR 担当 白井 まで

電話 03-3355-1189 E-mail usui@takachiho-kk.co.jp